



地から湧き上がる

真言宗声明

天から降り注ぐ

グレゴリオ聖歌

響きあう
癒しのハーモニー

ミラノ大聖堂聖歌隊は録画映像での参加となります。

Gregorian Chant & Shingon-shu Syomyo

東西の祈りの音楽 ～1000年の時を遡る

[第1部] 1000年の時を遡る -ルネッサンス音楽からグレゴリオ聖歌-

▶解説と演奏(古楽金管四重奏編によるグレゴリオ聖歌の旋律を使った曲目)

【出演】古楽アンサンブル コントラポント 金管四重奏団

(コルネット(ツインク):上野訓子 サクバット(トロンボーン):宮下宣子、南紘平、石原左近)

音楽監督・解説:花井哲郎

▶グレゴリオ聖歌 【録画映像での出演】ミラノ大聖堂聖歌隊

[第2部] 1000年の時を遡る -真言宗声明- 【出演】九州真言宗教師連合法親会

[第3部] 東西の祈り ~ミラノ大聖堂聖歌隊(録画映像)と真言宗声明 コラボレーションステージ~

※ミラノ大聖堂聖歌隊は来日が中止となりました。それに伴い、当初の予定より公演内容を変更して開催します。

2021 **3/2** (火) 7:00pm開演(6:00pm開場) A4,000円 B3,000円 C2,000円 D1,000円 (全席指定・税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、内容等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスク/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

2021
1/24 ㈯
発売

チケット
取扱

●芸術文化センター 0798-68-0255 <http://www.gcenter-hyogo.jp>
芸術文化センター2階総合カウンター[1/26(火)より、残席がある場合のみ]

●イープラス <http://eplus.jp> ●チケットぴあ <http://pia.jp/t/> ●ローソンチケット <http://l-tike.com>



兵庫県立
芸術文化センター
文化力
POWER OF
CULTURE

ご来場前にウェブ
サイト掲載の(当
センターをご利用
のお客様へ)をご
確認ください



文化力文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

《チケットご購入のお客様へお願い》新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでのご購入時には、来場者情報把握のため、先行予約会員(無料)へのご登録をお願いしております。なお、お一人様2枚までとさせていただきます。※入場者数を制限して販売する場合があります。※プレイガイドでの販売はインターネットのみとさせていただきます。取扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。※マスクを着用されない方はご入場いただけません。(マウスピアノ不可)

※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

ローマ・カトリック教会の典礼音楽として生まれ、西洋音楽の源流とされる“グレゴリオ聖歌”。一方、9世紀初めに弘法大師が中国から伝えたといわれる仏教儀式の音楽で、日本の声楽の源流とされる“声明”。ともに1000年の歴史を持つふたつの宗教音楽が交差します。

2019年5月にはイタリア・ミラノにおいても共演を行ったミラノ大聖堂聖歌隊と真言宗声明。残念ながら2021年は、新型コロナウイルスの世界的な流行により、ミラノ大聖堂聖歌隊の来日が叶いませんでしたが、特別なプログラムで1000年の時を遡る音楽旅行へと誘います。

第1部ではコルネットとサクバット(トロンボーンの原型)による古楽金管四重奏で、グレゴリオ聖歌の旋律を使ったルネサンス時代の楽曲を演奏し、また、ミラノ大聖堂聖歌隊の合唱も、当地の美しい景観も交えた映像でお聞きいただきます。第2部では地から湧き上がるような力強い声明の響きをお楽しみいただき、第3部ではホールいっぱいに共鳴する真言宗声明にミラノ大聖堂聖歌隊の映像が重なる、時空を超えたコラボレーションステージをお贈りします！

生きていることへの感謝や希望を謳う両者の音楽に身をゆだね、今こそ、癒しと安らぎに満ちたひとときを体感してください。

東西の祈りが響きあう

ミラノ大聖堂聖歌隊(映像出演)

Cappella Musicale del Duomo di Milano

ミラノで最も古い文化団体である。その起源は、14世紀末の大聖堂建立が始まった時までさかのぼるが、その音楽活動は、11世紀以前のボリフォニー音楽が出現する前のミラノ司教座大聖堂学校から始まる。そして現在に至るまで、一度もその音楽活動は途切れた事はない。何世紀にも亘る長い歴史を通し、17世紀のミラノを代表する作曲家ミケランジェロ・グランチーニを含む数多くのすぐれた指揮者、オルガン奏者を輩出している。日頃から活動を精力的に行っており、毎週日曜日のミラノ大聖堂のミサ、数多くの公的文化行事、宗教行事に参加。その実力、地位は高く評価され、イタリア国内各地での演奏活動や重要な国際音楽祭での演奏活動を行っている。

古楽アンサンブル コントラポント 金管四重奏団

Contraponto -Ensemble for Early Music

花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。17世紀を中心に、後期ルネサンスからバロックの宗教音楽をレパートリーとする。プログラムによって、各パート一人ずつの器楽・声楽によるアンサンブル、ア・カペラの合唱、そして独唱、合唱にバロック・オーケストラという形態まで、それぞれの作品にふさわしい編成をとる。作品の持つ可能性を最大限に引き出すために、時代・地域に固有の演奏形式に徹底的にこだわった演奏、また声楽家と器楽奏者が音楽のみならず「音」そのものに対するイメージを共有して、各自の独創性を生かしながらも「対位法的に」一体となった演奏を目指している。これまで取り組んできた音楽は、ピクトリア、ジェズアルドといったルネサンス音楽、ガブリエリ、モンテヴェルディなどヴェネツィア宗教音楽の黄金時代、ドイツ初期バロックの3大Sシャイン、シャイト、シュツ、スペインのビリャンシコと18世紀イエズス会宣教時代ラテン・アメリカの宗教作品、フランス・バロックの作曲家シャルパンティエ、ジャン・ジル、クーブラン、ド・ラランドなど、多岐にわたる。結成10周年的記念演奏会でモンテヴェルディ「聖母のタベの祈り」を演奏、そのライブ・レコーディングはOTTAVA records第一弾アルバム『コントラポントのヴェスプロ』としてCDリリースおよびハイレゾ配信され好評を博す。

今回はメンバー4人による金管四重奏の形で演奏する。

コルネット(ツインク):上野訓子 サックバット(トロンボーン):宮下宣子 南紘平 石原左近

TOPICS

グレゴリオ聖歌と声明

グレゴリオ聖歌は8世紀の終わり頃に定められたカトリック教会の典礼音楽。しかしながらそれ以前から欧洲各地で固有の単旋律聖歌が歌われていました。カトリック教会が聖歌の統一を図り、各聖歌がグレゴリオ聖歌に統合されていったため広義にはそれを総称してグレゴリオ聖歌と呼んでいますが、厳密にはミラノ大聖堂聖歌隊が歌うのは4世紀の大司教の名に由来する「アンブロジオ聖歌」。ミラノ固有の稀少な伝統音楽を彼らは脈々と受け継いでいるのです。対して、声明は仏教儀式において、僧侶が经典やそれらを解説した文章を暗記し朗唱する際に旋律をつけて唱えたもの。西洋音楽的な音階はほとんどありませんが、一定の抑揚が与えられ“旋律の付いた誦経”と表現できます。天台声明とならぶ二大流派といわれる真言宗声明は男性的なダイナミックさが特徴です。



九州真言宗教師連合法親会

Kyushu Shingonshu Kyoushi-rengou Houshinkai

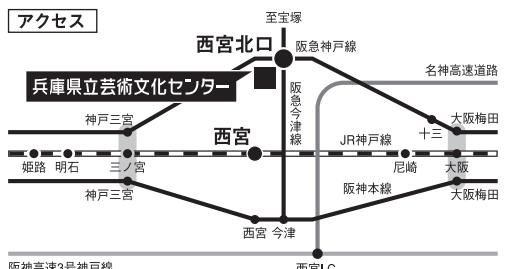
弘法大師の教えを「学び」「育み」「伝える」ため、1993年一味和合の精神のもと、九州各地より真言青年僧有志が集い結成。密教の教のみならず、日本の豊かな伝統文化を学ぶことも活動に取り入れ研鑽を積み重ねている。2011年 梅若玄祥(人間国宝)の新作能「空海」へ出演(東長寺)、2015年 高野山開創1200年記念にて庭儀理趣三昧の法要を厳修(高野山壇上御藍金堂)。2014年、2017年にはイタリアから来日したミラノ大聖堂聖歌隊と共演。2019年には、イタリア(ミラノ)サン・マルコ教会にて、ミラノ大聖堂聖歌隊と3度目の共演を実現した。2021年、4度目のミラノ大聖堂聖歌隊との公演を通じて、生きる喜びや希望を感じられる時間を共有したいと願っている。

花井哲郎(音楽監督、解説)

Tetsuro Hanai, music director/ interpretation

古楽演奏家。早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業後、アムステルダム・スウェーリング音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中、教会音樂家、合唱指揮者、鍵盤楽器奏者として活動し、グレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にてヴォーカル・アンサンブル カペラを創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続け、ジョスカン・デ・プレのミサ曲全集のCDをリリース中。2005年には古楽アンサンブル コントラポントを結成、リーダーとして17世紀を中心としたバロック宗教音楽演奏にも力を注ぐ。長野県原村にて「はらむら古楽祭」を毎年開催、新しい古楽の楽しみ方を提唱する。フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。

アクセス



◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。